

山形県の古木・名木 No.33

角川の大杉 (つのかわのおおすぎ) 〈長倉の大スギ (ながくらのおおすぎ)〉

最上郡戸沢村大字角川字長倉1010

縁起書によれば、神亀元年創建されたとされる今熊野神社の境内に神木として育ち、又、月山登拝道角川口の入り口に立って長い歴史を見つめてきている老杉である。

樹齢千二百年余、根周14m、目通りの幹周9.5m、数本の大枝に分かれるが、いずれも直上して樹高およそ40mに達する。

ここから南へ約4kmの山中にある今神温泉への途上にあるため「今神の大スギ」の名でも知られている。

昭和27年4月1日山形県指定天然記念物に指定されている。

(山形県森林協会)

(案内略図)



長倉の大杉
樹齢千二百年余、高さ約四十米、幹の太さ約十二米、縁起書によれば、神亀元年創建されたとされる今熊野神社の境内に神木として育ち、又、月山登拝道角川口の入り口に立って長い歴史を見つめて来ている老杉である。昭和二十七年山形県指定天然記念物となる。
戸沢村文化財保護委員会

【森林やまがた57号(2001年12月)記載】